

2025～2026 年度会長方針『ロータリーの基本を見つめ奉仕活動を通じて地域社会に貢献しよう』

よいことの
ために
手を取りあおう

会長/渡邊恭司 幹事/根本裕司 SAA/杉本達哉 クラブ運営委員長/相澤一郎
例会 毎週月曜日 12:30 上野精養軒 TEL03-3821-2181
事務局 〒110-0008 台東区池之端 3-2-2 メゾン池之端 302 橋本登美子

TEL03-5814-2491 FAX03-5814-2490 e-mail office@tokyo-ueno-rc.com

環境月間

1812 回 5 月 25 日

No.1802

前回の例会報告

5/18(月)12:30～ @上野精養軒
第6回クラブフォーラム 青少年奉仕

ローテックス卓話

「ロータリー青少年交換プログラムについて」

58 期 ROTEX 保坂真琴

59 期 ROTEX 青木優仁

紹介者 古藤青少年奉仕委員長

■出席報告 (会員 54 名内出席免除 7 名)

会員数	出席者	出席率	4 月 27 日修正出席率
(54)48	34	70.83%	70.83%

ロータリーソング「我らの生業」

クラブソング「めぐる友愛 春」

ソングリーダー 新保会員

「4 つのテスト」唱和

地区内来訪者 東京上野 RAC 高未佳会長

地区外来訪者 新潟東 RC 品田史夫さん

会長挨拶



皆さんこんにちは。

5/16 に上野恩賜公園にて上野 RAC と合同で献血活動を行いました。過去の献血活動では通常 40 人も集

まれば上出来の所 50 名を超える方から献血をして頂く事が出来ていたため、赤十字社の方で当日の目標が 60 人と非常に高く設定されておりましたが、井上さんや西山さんがご自分の会社の従業員等に声をかけて頂いたこともあり 50 名程の方に献血をして頂く事が出来ました。参加された皆様大変お疲れ様でした。

先週皆様にメールにて配信致しましたが、来年のバルセロナ国際大会のツアーを組みました。国際大会本会議の後、世界ナンバーワンのステーキハウスと美食の街サンセバスチャンに立ち寄るツアーです。ユーロ高や中東情勢の影響等で現地での費用やエア一代金も少し高くなりそうですが、なかなか行ける場所ではありませんのでご興味ある方は是非ご参加をご検討ください。

本日の卓話は第 58 期 ROTEX 保坂真琴さんと第 59 期 ROTEX 青木優仁さんにロータリー青少年交換プログラムについて話していただきます。大変楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。

幹事報告

RI 関係 ハイライトよねやまが届いておりますので掲示板をご覧ください。

他クラブ関係 例会変更は掲示板をご覧ください。

上野 RC 関係 東京上野 RAC 高会長に活動費下期を贈呈致します。

東京上野 RAC 高会長より一言



日頃から私たちの活動に温かいご支援を承り、誠にありがとうございます。今年度、私たち育園をテーマに活動しておりまして、人とのつながりを作るだけではなく、来年以降に引き継ぐということを大切に活動してまいりました。その中でもロータリークラブの皆様からいつもいただける温かいお言葉に、私たちもとても元気をもらっています。来年度の紹介を簡単にさせていただきます。新 4 役が決まりました。会長、浅倉しいな、幹事、園部真理、会計、新保奈々海、そして新しく入った濱口美優が幹事補佐で新体制を築いてまいります。また、引き続き、ご指導いただきたく、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

委員会報告

相澤クラブ運営委員長

来週はオープン例会です。卓話には衆議院議員の齋藤りえ先生にご登壇いただきます。「私にしかできない役割を求めて」という演題でご本人が聴覚障害ということを乗り越え衆議院議員になられたことを題材にお話をいただきます。会員増強には非常に重要な機会と思っておりますので、参加者を募っていただきますようお願いいたします。

新保社会奉仕委員長

5/16 当クラブと東京上野 RAC が合同で献血活動を行いました。今朝、赤十字から結果報告が来ましたのでお伝えさせていただきます。当初 60 名の目標に対して、実際に献血申し込み者数は 49 名でした。そして、献血できなかった方が 8 名いらっしゃいましたので、実際に献血できた方は 41 名という結果になりました。私としては、この数字が決して少ないとは思っておりません。春とは違って、上野公園もものすごく混んでいるという状況ではない中、良い社会奉仕活動になったのではないかと考えています。この要因として、3 つあると考えます。

まずは会員自らが率先して献血を行っていただいたこと。それからもう一つは、西山さん、井上さん、鳩山さんなどが会社の方やお知り合いの方を積極的にお呼びして、献血活動が始まる前からすでに 25 名の予約がありました。そして最後に、後半 2 時間、富坂和也さんは大きな声を出しっぱなし、最後は「愛のある献血」という言葉で、それが響いて多くのお申し込みをいただけたのではないかなと思っています。来年は和弥さんと、それから中澤さんお 2 人いればもう十分じゃないかなと感じた次第でございます。ありがとうございました。

お誕生日 5/17 齋藤会員

ニコニコ

☆5/16 に行われた献血活動が目標の 50 名を超えることができました。皆様、ありがとうございました。

新潟東 RC 品田史夫さん 新潟東 RC から参りました。よろしく願い致します。

渡邊会長 ☆十本日、58 期 ROTEX 保坂真琴さん、59 期 ROTEX 青木優仁さんに卓話をさせていただきます。楽しみにしております。

新保会員 結婚記念日に素敵なお花をお送り下さりありがとうございました。また 5/16(土)の献血活動にご参加下さいました皆様ありがとうございます。

☆富坂和弥会員、水門会員、八巻会員

卓話

紹介者 古藤青少年奉仕委員長



本日は「ロータリー青少年交換プログラムについて」という演題で 58 期 ROTEX 保坂真琴さん、59 期 ROTEX 青木優仁さんにお話をさせていただきます。私自身も高校 3 年間カナダに住んでいましたので、海外の生活を懐かしみながらお話を聞かせていただくのを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

58期 ROTEX 保坂真琴さん

本日はこのような機会をいただきありがとうございます。青少年交換プログラムについてご紹介させていただき、この卓話を通して、青少年交換プログラムについて知っていただき、ホストクラブ、スポンサークラブ、ホストファミリーのご協力、青少年交換委員、派遣学生の輩出につながられたらと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

58期ROTEX 保坂 真琴

Hosaka Makoto

出身高校：武蔵野大学高等学校
スポンサークラブ：東京東久留米ロータリークラブ
派遣国：ベルギー王国（2023-2024）
現在：上智大学総合グローバル学部学科 2年



始まりは1929年、フランスのニースでの交換留学でした。それから現在まで96年にわたり続いています。このプログラムの主な目的は、交換留学の機会を提供し、国際理解、異文化理解と親善の心を育むことです。国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらし、世界平和を実現するリーダーを生み出すことを目指しています。青少年たちは、小さな親善大使として世界に発出され、身近にない社会問題への気づきを得て、自ら働きかけること、そして派遣先のロータリーの活動に参加することで、世界平和を目指すことを目的としています。

ロータリー青少年交換プログラム (RYP) とは



- 15歳～19歳の学生に1年間交換留学の機会を提供する
- 「青少年奉仕」活動。
- 100以上の国で約530地区が連携して実施



ロータリー青少年交換プログラム (RYP) とは



- 海外交流の機会を提供し、青少年の国際理解と親善の心を育む。
- 異文化を理解し、故郷を越えた友情と信頼を築く機会の提供により、世界の平和を実現するリーダーを育成する。



AGENDA



1. ロータリー青少年交換プログラムについて
2. ROTEXとは
3. 活動報告
4. 青少年交換委員からみた本プログラム
5. 私たちの派遣生活

小さな親善大使

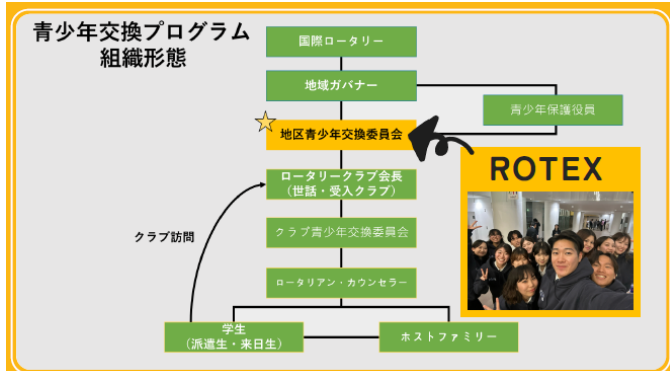


実際、ロータリーの青少年交換プログラムは、地区ごとに内容の運営や形が異なります。しかし、世界平和を目指すという目的とその志や能力を持った学生を世界各地のロータリークラブが育成するという点は共通しています。2580地区における ROTEX の活動として、学生を取りまとめ、地区におけるイベントを企画・開催

1. 青少年交換プログラムについて



しています。例えば、1回、委員会を開き、学生の状況を共有したり、問題解決案を話し合ったりしています。



現在 2580 地区では 10 名の来日学生を受け入れています。今年の夏に派遣される日本人学生は、沖縄の 1 人を含め 10 名。上野 RC でも来日学生ファンファンと派遣学生横田真愉乃がお世話になっています。2580 地区は規模が小さいため、学生とロータリアンの方々の距離も近く、温かな雰囲気が特徴的です。また、同地区では世界平和を考えるため、できる限り一国一人の派遣を行っております。更に来年度はメキシコ・イタリア派遣が復帰されました。今後もっと多種多様な派遣を実現し、世界平和について考えられる青少年を東京という地で育成していけることを期待しています。

この青少年交換プログラムは、ただ留学するプログラムとは異なり、5 年間一貫のプログラムになります。



一年目、6 月頃に選考試験が行われ合格した中高生は派遣予定学生となり、海外派遣に向けて小さな親善大使としての準備を行います。派遣予定学生は、来日学生とともに地区委員会の行事に参加するほかスポンサークラブの訪問や月 2 回の茶道などの活動を通じて日本文化を派遣先で伝えられるよう、日本の代表する小さな親善大使としての心得を学んでいきます。2 年目、いよいよ小さな親善大使として海外に派遣されます。現地の学校に通いながら、受け入れのホストクラブを訪問したり、世界中から集まった交換学生と交流したりします。その活動内容や頻度は地区形態によって大きく異なります。私が派遣された 2160 地区は、ベルギーに派遣された学生が 98 人と 2580 地区の約 10 倍ほどいた大きい地区だったのですが、そこでは、ローテックスではなくロータリアン主体でのアクティビティが行われていました。学校やロータリークラブで日本の文化や現地での生活についてプレゼンを行うなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動を通じ日本と派遣国の架け橋となれるよう努力をしていきます。帰国してからの 3 年間は、ローテックスとして活動します。主な活動は、日本に滞在している学生のサポートと派遣予定学生の準備のサポートです。また、異文化交流を補足するための行事の企画・運営、委員会のサポート、そして卓話の活動です。これらの活動をボランティアで私たちは行っています。この期間は、先輩たちや委員会に携わってきた方々、ロータリアンの方々が紡いできたものを未来へつないでいく大変重要な機会になっています。このプログラムが決して衰退せず、より合理的で良いものとなるよう務めております。

現在の学生

来日学生	派遣予定学生
<ul style="list-style-type: none"> タイ 台湾 アメリカ×2 フランス ベルギー 	<ul style="list-style-type: none"> オーストリア フィンランド インドネシア ブラジル 計 10 名

計 10 名

来年度の派遣国 (交換国)

< 派遣予定学生 >

海外に派遣される前の準備期間

- ・来日学生と共に地区青少年交換委員の行事に参加
- ・スポンサークラブ訪問
- ・茶道
- ・FT (遠足)
- ・サマーキャンプ
- ・ジャパンツアー
- ・留学 (派遣) の手続き
- ・日本の文化について学びを深める

→日本を代表する「小さな親善大使」としての心得を習得



< 小さな親善大使 >

海外に派遣

- ・現地の学校に通う
- ・ホストクラブ訪問
- ・各国からの交換留学生と交流
- ・現地のロータリー活動に参加する
- ・日本と派遣国の架け橋になる

→「小さな親善大使」として海外で活動をする



< ROTEX >

サポート期間/奉仕活動

- ・来日学生のサポート
- ・派遣予定学生の準備サポート
- ・地区行事の企画運営
- ・青少年交換委員会のサポート
- ・卓話活動



→本プログラムを未来につなげるための活動

次に、私たちローテックスについて詳しく紹介させていただきます。



2. ROTEXとは

ROTEX サポート期間/奉仕活動

奉仕活動 (ボランティア活動)
所属: 国際ロータリー青少年奉仕委員会
奉仕先:
青少年交換プログラム (留学生、派遣学生)、国際社会

主な業務内容

- ・来日学生のサポート
- ・派遣予定学生の準備サポート
- ・行事の企画運営
- ・青少年交換委員会のサポート
- ・卓話活動



オリエンテーションの様子



ROTEX は留学で海外に一年滞在している学生にとって一番近い先輩としてサポートを行う団体です。地区青少年交換委員会に所属する形をとっています。主な活動内容は、イベントの企画・運営や学生のケア、2580 地区のプログラムの運営全般です。3 年目のローテックスが執行代を務め、現在は第 57 期が担当しています。ジャパンツアーやサマーキャンプ、フィールドトリップ、内容や頻度は執行代が決めるため、年度によって異なります。毎年来日生と派遣予定学生が共に日本文化を学び、異なる価値観への理解を深め、コミュニケーションを促進できる場をつくれるよう努めております。

来日学生にとって、自らの生活を自主的に築いていく期間であり、派遣学生にとってはこれから始まる生活を自分の力でつくっていくための準備期間となります。私たちは、学生一人一人が考えられ、行動できるような支援に特に力を入れています。月に 1 回のオリエンテーションでは派遣に必要な情報の共有を行っています。毎回テーマを決めて、派遣学生には英語や派遣先の言語、来日学生には日本語でスピーチをしてもらっています。スピーチ後のフィードバック、また派遣先の国から来ている学生がいた場合はその学生からもアドバイスをもらい上達を促しています。

ロータリー青少年交換プログラムは、2 つの視点から世界平和を目指しています。1 つは、青少年が世界で物理的につながることで、平和の輪が広がっていくことです。留学生を受け入れることで、その子の母国に興味や好意を持ち、まずこうした交流が世界中で起こることによって人々がつながっていきます。2 つ目は、プログラムを終えた青少年が世界的リーダーになることで目指す平和です。青少年の未来価値をさらに大きく、質の高いものにできるよう、自ら平和について考えられる青少年

年の育成を目指します。今年度は第 57 期を中心に、世界平和を本気で考え、その経験を未来につなげられる学生の育成を目指します。来日学生には、本気で日本を大好きになって帰国してもらうこと、派遣学生には自分自身で考え、行動できる小さな親善大使を作り出すこと、これが私たちのミッションです。



59 期 ROTWX 青木優仁さん

第59期ROTEX 青木優仁

出身高校：武蔵野大学高等学校
 スポンサークラブ：東京新都心ロータリクラブ
 派遣国：ベルギー王国
 所属：Monash University of Malaysia
 国際ロータリ第2580地区青少年交換委員会
 ROTEX



3. 活動報告

まず 2025 年度最初の行事として 8 月に東所沢にあるコロンビアインターナショナルスクールで ROTEX が執行代として以下のプログラムを企画・運営しました。

3年目のROTEXが執行代として主に活動

- 日本文化の体験・学習を促進
- 異なる価値観に対して理解を深める
- コミュニケーションの促進
- 小さな親善大使となるサポート

サマーキャンプ

【INBOUNDS】

- 入国当日から10泊11日
- 日本語強化合宿
- + ひらがな、カタカナの修了
- 最終日の母国プレゼン（日本語）
- 日本の表面的な文化に触れる
- アイスブレイク
- 日本のルールや習慣を身に付け、ホストファミリーの家に行く準備を行う

【OUTBOUNDS】

- 2泊3日
- AFのSL&PLの完成
- ローターリーについて学ぶ
- アイスブレイク

サマーキャンプでは、10 日間にわたり来日学生はひらがな・カタカナのマスターを目標に日本語の基礎を学びました。期間中には授業の一環として風呂敷講座や書道体験を行っています。授業外ではアニメ鑑賞、花火などを通して日本のポップカルチャーや伝統に触れ、最終日には日本語でスピーチを行いました。派遣予定学生は、来日学生との関係づくりのため 4 日間参加し、派遣先での目標を英語でスピーチしました。ROTEX はスケジュール調整や企画運営のほか、到着したばかりの来日学生に日本での生活ルールや習慣の指導を行っています。サマーキャンプはホストファミリーの家に移動する前の重要な準備期間でもあるため、日本でのルールを細かく指導しています。

フィールドトリップ

- 2ヶ月に一回ほど
- ROTEX完全主催
- 日程調整・企画・案内・引率
- 異文化交流の機会の提供
- ポップカルチャーを学ぶ
- 社会科見学

また、フィールドトリップと呼ばれる遠足を2ヶ月に1回実施。過程の全てをROTEXが企画し引率します。日本伝統的な建造物を巡るほかグループ行動を取り入れることで、学生同士の交流を図る工夫をしています。

9月フィールドトリップ (FT)

本所防災館

目的：
火災、地震、暴雨の体験を通して、日本の自然災害や緊急時に備える



9月に本所防災館にて、地震や豪雨の体験学習を行いました。日本に到着して間もない時期に日本の防災リスクを学ぶことは非常に重要であると考え、例年の災害学習を実施しています。

10月 大阪万博

ROTEXのご家族や、ロータリアンのご協力のもと



10月は皆様のご支援のもと、来日学生を連れて大阪万博に行ってきました。皆様のご協力でこうした貴重な活動が実現できています。

11月ポリオ募金活動&清掃活動

錦糸町

目的
ロータリークラブの活動に参加する
慈善活動に携わる
RACやIACと繋がる



11月ポリオ募金活動&清掃活動



11月にはRACのお誘いにより「ポリオ募金活動」に参加しました。普段は体験学習が中心で、奉仕活動をする機会が少ないため、国際ロータリーの代表的な活動に携われたことは大変良い経験となりました。

11月フィールドトリップ (FT)

高尾山紅葉狩り

目的
・日本の紅葉を楽しむ
・東京の郊外に行ってみる
・グループ活動で交流を深める



また、同日には、高尾山のもみじ狩りを行い、グループ活動を通して親睦を深めました。

12月フィールドトリップ

12/14 クリスマスパティー

目的
・ゲームを通じた交流
・プレゼント交換でクリスマスを楽しむ



12月クリスタスパティーを行いました。プレゼント交換やジェスチャーゲームなど、みんなで楽しい時間を過ごせました。

2月フィールドトリップ

2/8 平和学習

目的
・2750地区の青少年交換プログラム学生と共に、平和について調べ学習をし、グループ発表を行う。
・平和の実現を目指すのになにをすべきか模索する



2月のフィールドトリップは、2750地区の学生と合同で平和学習を実施しました。事前に宗教か民族のどちらかのグループを選んでもらい、学生だけで調べ学習や資料づくりをし、最後は英語で発表を行いました。

ジャパンツアー

【来日学生、派遣予定学生】
3/26-4/4 9泊10日
-日本についての知識を深める
-共同生活に慣れる
-国際交流



平和ディスカッション

- 広島平和記念資料館を訪問
- 多様なバックグラウンドを持つ青少年が集まる場で、本気で平和についてディスカッション



ジャパンツアー (3/26~4/4)



派遣学生と派遣予定学生の目玉になるジャパンツアーでは毎年必ず広島平和記念資料館を訪問します。原爆被害について知見を深めた後、世界各地の青少年と平和についてディスカッションを行います。戦争のみならず広い意味での平和について考える機会にしています。今年度のテーマは「平和とは」でした。初めは戦争について話す学生が多かったのですが、戦争がないことだけが平和なのかなど、短時間で様々な議論が行えました。自分も派遣予定学生の時、ウクライナからの学生と平和について話した際は、平和とは普通に暮らす、みんなと食卓を囲む、たまに喧嘩などが起きてもそれは仕方ないというよりは日常として組み込んでそれが普通の平和だという結論を出しました。来日学生にとっては、東京では学べない日本各地の文化に触れる機会となり、派遣学生にとっては、日本の魅力を再発見する貴重な機会となります。また、9

日間の共同生活を通して異なる価値観を学ぶことは、その後の派遣生活に大きく活かされます。

4月フィールドトリップ

4/12 お花見

目的
・春の風物詩であるお花見を通して、日本ならではの文化を体験する。



4/12 昭和記念公園でお花見を開催しました。日本語の言葉遊びや日本語の昔遊びで日本文化に触れました。残念ながら桜はあまり見る事ができなかったのですが、春の花がきれいに咲いて天気にも恵まれ、学生たちはジャパンツアーの疲れを癒しました。

5月フィールドトリップ

5/17 浅草 三社祭

浅草三社祭に参加し下町の人々が持つ熱気に触れ、町内の人とコミュニケーションを取る。



昨日 5/17 浅草の三社祭でお神輿を担ぐ体験をしました。こちらロータリアンのご協力によるイベントで、地域の方々も快く受け入れてくださり、小さな親善大使として非常に貴重な体験をさせていただきました。以上がフィールドトリップのご報告です。

茶道



-2580地区独自の活動
-裏千家、今日庵
-日本の伝統的なおもてなし
->派遣中・帰国後にそれぞれ披露

ROTEXの担当
-稽古日の調整
-出欠の取りまとめ
-引率
-引継ぎの徹底

続いて、茶道の稽古についてです。一般的には茶道(さどう)と言いますが、私たちがお稽古させていただいている裏千家では、茶道(ちゃどう)と言います。こちらは年間を通して行われ、ROTEXが日程調整と引率をします。お稽古は日本重要文化財でもある金日庵(こんにちあん)という由緒正しい場所で行っています。

金日庵でのお稽古は 2580 地区特有の活動であり、ロータリアンや金日庵のご厚意で続けられています。年度末には、学生たちは日本の伝統的なおもてなしができるようになります。帰国後に家族へ披露する来日学生や派遣先で披露する派遣学生が毎年たくさんいます。

広報活動

- 地区内ロータリークラブの訪問（卓話活動）
- 学校訪問



その他、このような卓話活動や本プログラムへのご協力いただいている学校訪問など、より良いプログラムにするための広報活動を行っております。活動報告は以上です。



5. 青少年交換委員からみた本プログラム

森江加代

所属：東京武蔵野RC 会員
地区青少年交換委員
2025-2026年度副委員長

現在、地区青少年奉仕委員会副委員長の森江佳代氏からのメッセージを代読させていただきます。

「私はロータリークラブに入会し一年目から地区に出向させていただき、今年で3年目となりました。今年度は副委員長を務めさせていただいております。青少年交換プログラムは、来日学生、派遣学生、派遣予定学生、そして彼らの活動、企画、運営、サポートをしてい

る ROTEX が主体のプログラムです。学生たちはこのプログラムを通して、異なる文化や習慣の中での様々な課題に向き合い、多くの人との関わりの中で起こる出来事の一つ一つ自分たちで考えながら乗り越えていきます。戸惑ったり悩んだりすることもあると思います。それでも、その経験を重ねながら確実に成長していく学生たちの姿を間近で見られることは、私たち委員にとって何よりの喜びです。青少年交換プログラムは、未来を担う人材を育てる素晴らしいプログラムだと実感しております。より多くのロータリアンの皆様にその価値をご理解いただき、ぜひ積極的に関わっていただけたら大変嬉しく思います。これからも温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願い致します。」



6. 私たちの派遣生活



私の派遣生活について少しお話しさせていただきます。私は保坂さんと同じベルギーの 2160 地区に派遣させていただきました。2160 地区はフランス語圏になっており、一年間一生懸命フランス語を勉強しました。ベルギーといえば、チョコレートやワッフルを思い浮かべるかと思いますが、それもととても美味しいのですが、私が一番美味しかったのがポテトフライです。フレンチフライではなく、ベルギーフライです。吉祥寺にもベルギーフライ専門店があり、そこもととても美味しかったのでぜひ食べてみて下さい。本地区は 100 人以上の派

遣学生がいました。主にメキシコ、アルゼンチンの方が多かったです。

ベルギー文化にも触れ、ワロン語という言語について少し調べました。ワロン語はベルギーに残ったとても古い言葉で、フランス語が元になったということです。皆様にワロン語を一つお教え致します。「やばい」とか「マジか」という時によく使われる「ウフティー」という言葉があります。ぜひ日常会話でも使っていただくと嬉しいです。また印象に残っているものとしては、カエルを食べました。カエルは鶏肉のような味がしてとても美味しかったです。月1回ベルギーの町を訪問することがありました。ルクセンブルクにも行きました。皆さんご存知だと思いますが、ルクセンブルクはヨーロッパのすごい人たちが集まり、平和についてのディスカッションや国費の削減、使い方などを学ぶ機会があり、とても面白かったです。

ご親戚などでロータリー青少年交換プログラムにご興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひ来年7月上旬に行う第62期選考試験にご応募下さい。ロータリー青少年交換プログラムでは、派遣前、派遣後の活動を含め、他の留学プログラムにはない経験ができます。5年間のプログラムを通して、自分の可能性が大きく広がることを私たち ROTEX は実感しています。

最後になりますが、私たち ROTEX は、派遣予定学生や来日学生が日本文化を学び、異文化交流の機会を作ることに努めています。このような私たちの主催するイベントは、ROTEX 費から出ています。この予算から学生たちの各施設の入場料・体験料、食事料を支出します。グッズの売り上げは ROTEX 費になりますので、彼らの一年間の日本での文化体験がより充実したものになるよう多くの皆様にご協力いただくと幸いです。

グッズの紹介

- コースター 3000円
- キーホルダー3種セット 2000円
- タンブラー 4000円
- ステッカー2種セット 1000円

グッズの紹介

- トートバッグ 4000円
- ゴルフマーカー 7000円
- 冷感タオル 一枚3000円

改めて本日このような作画の機会をいただき誠にありがとうございました。今後とも青少年交換プログラムへのご協力をよろしくお願い致します。



5/16(土) 献血活動@上野公園ポケットパーク



5/17(日) RAC 地区年次大会@タワーホール船堀



本日の例会

5/25(月) 12:30~13:45 オープン例会

@上野精養軒 3F 桐の間

卓話 衆議院議員 斉藤りえ 氏

演題:「私しかできない役割」を求めて

~新人国会議員誕生までの道のり~

次回の例会

6/1(月) 12:30~ @上野精養軒

卓話 鶴丸はるか氏

「音楽が見つないだコスタリカの奇跡

— ひとつの選択で流れが変わった体験 —」

紹介者 永井会員

今後の例会予定やイベント案内

6/3(水) 18:00~ グルメを楽しむ会

上野精養軒 グリルフクシマ

6/11(木) 台北龍山 RC20th 前夜祭

6/12(金) 台北龍山 RC20th 記念式典

6/13(土)~17(水) 台北国際大会

6/13(土) 上野ナイト

6/14(日) ガバナーナイト